

2-9 フォームの作成

2-9-1 フォームの新規作成

フォーム機能を使うと、データの入力や表示を行うための操作性の良い画面を作成することができ、複数のテーブルの内容を関連付けて表示し、同時に入力させることも可能です。また、明瞭なフォームを作成することは、入力ミスを防ぐのに役立ちます。今の例では、受験者テーブルのデータと入試成績テーブルのデータは連動させて入力するのが効率的なので、この2種類のデータを同時に扱うフォームを作成していきましょう。

フォームの作成方法としては、次の3種類があります。

- ・オートフォームを利用する方法
- ・ウィザードを使用する方法
- ・ウィザードを使用せずフォームを作成する方法

ここでは、ウィザードを使用して作成した後、修正して操作性の良い画面を作ります。以下のように操作してください。なお、操作は注意深く行いましょう。

- ①データベースウィンドウの「フォーム」をクリックしてフォームに切り替え、「新規作成」をクリックします。
- ②「フォームの新規作成」ダイアログボックスでフォームウィザードを選ぶと、応答要求に応じていくだけで様々な形式のフォームを作成できます。ここでは、受験者テーブルのデータと入試成績テーブルのデータを同時に入力するために、メイン/サブフォーム形式のフォームを作成します。

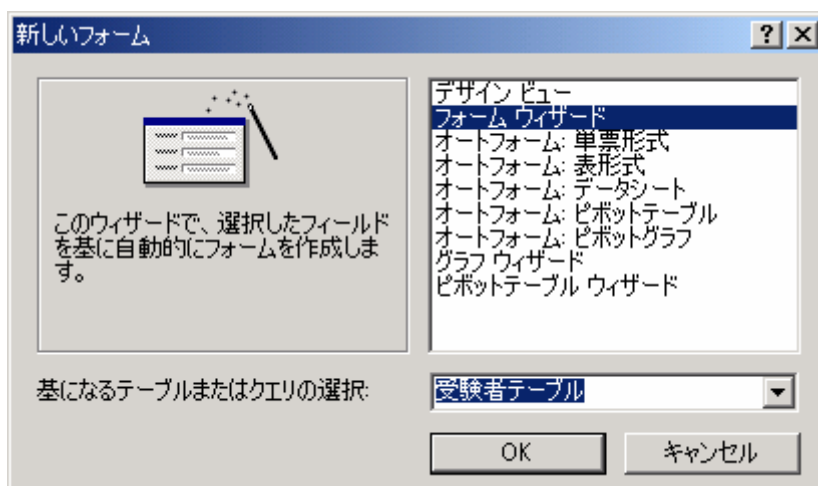


図 2-13 フォームウィザード 1

- ③応答要求に応じていきましょう。
 - ・「フォームウィザード」を選択。
 - ・「基になるテーブルの選択」で「受験者テーブル」を選択し、OK をクリック。
 - ・「選択可能なフィールド」に表示されているフィールドを、「>>」をクリックして「選択したフィールド」に移動します（図 2-14 参照）。「>>」は「左側に示されているすべてのフィールドを右側に移動する」ボタンです。

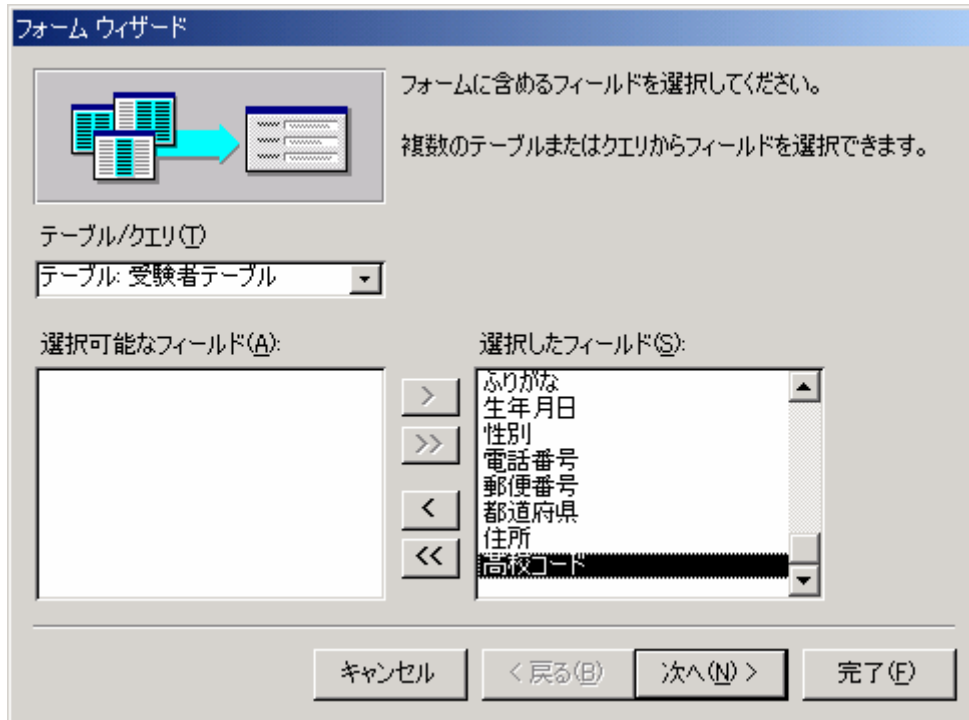


図 2-14 フォームウィザード 2

- ・入試成績テーブルも含めるため、「テーブル/クエリ」で「入試成績テーブル」を選択。
- ・「選択可能なフィールド」に「書類審査」「小論文」「面接」を「>」をクリックして「選択したフィールド」に移動させ、「次へ」をクリック。「>」は、フィールドを個別に右側に移動させるボタンです。

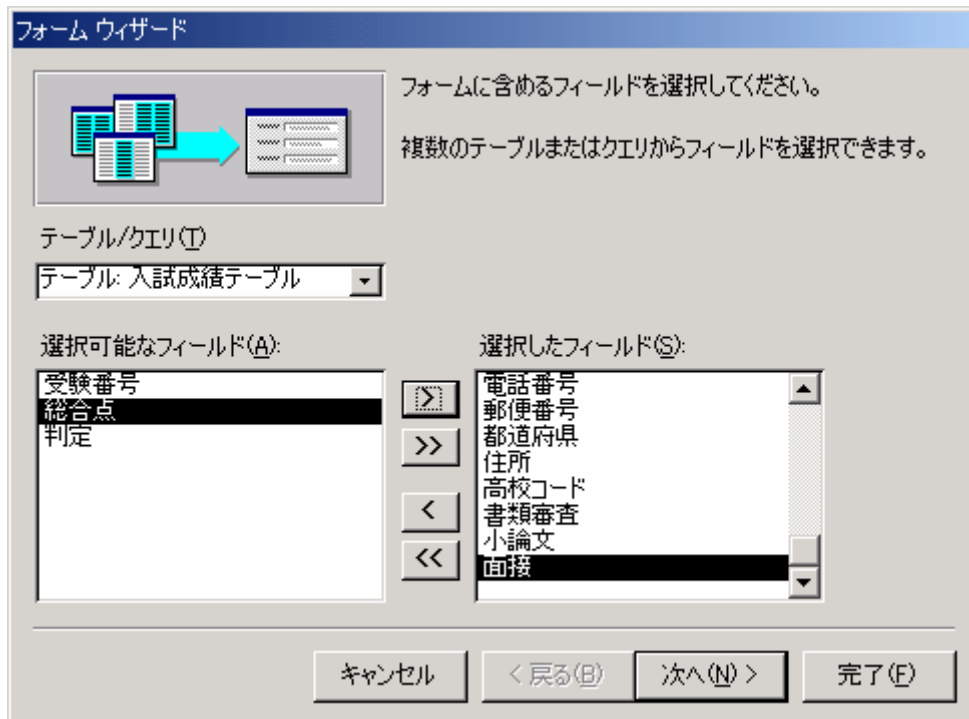


図 2-15 フォームウィザード 3

- ・「フォームの表示形式」は「単票形式」を選択して、「次へ」をクリック。

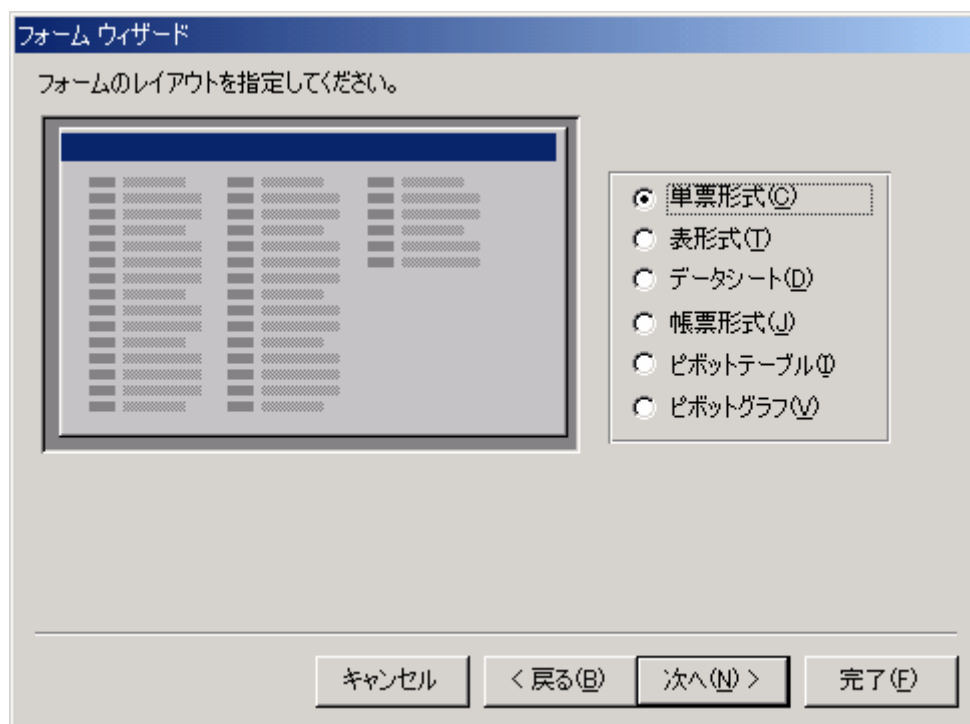


図 2-16 フォームウィザード 4

- ・「スタイル」は「標準」を選択して、「次へ」をクリック。



図 2-17 フォームウィザード 5

- ・「フォームの名前」を「受験者成績」とタイプします。

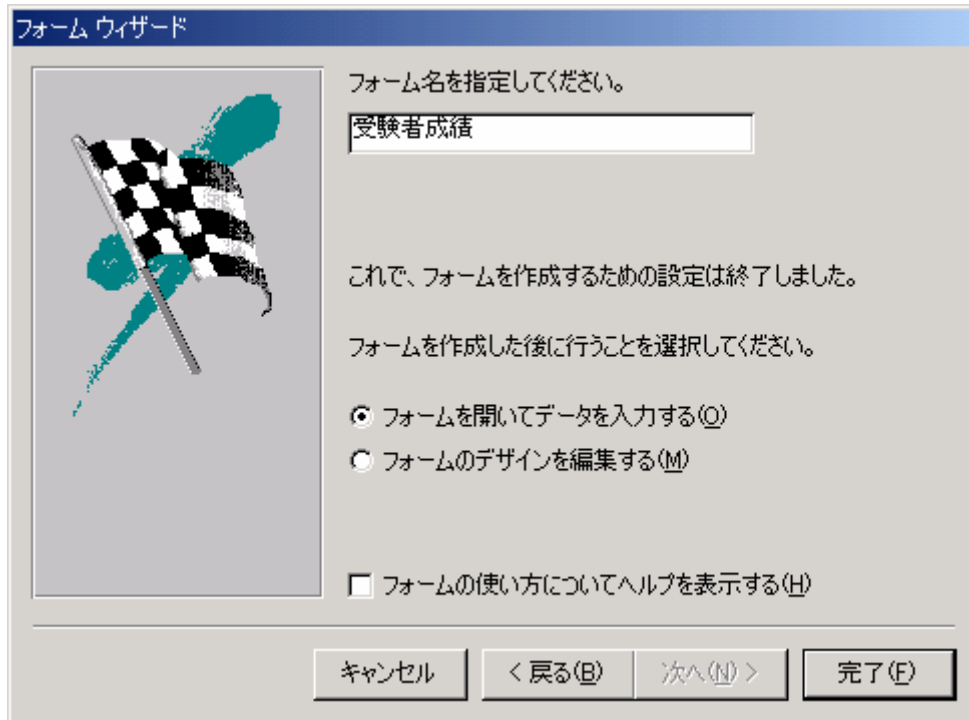


図 2-18 フォームウィザード 6

- ・「フォームを開いてデータを表示する」を選択して、「完了」をクリック。以下のようなフォームができました。

図 2-19 フォームウィザード 7

- ・右上の 印をクリックして、「変更を保存しますか」の確認に「はい」を選択して閉じます。

この節の最後に、次節でよく利用するツールボックスの機能を確認しておきます。

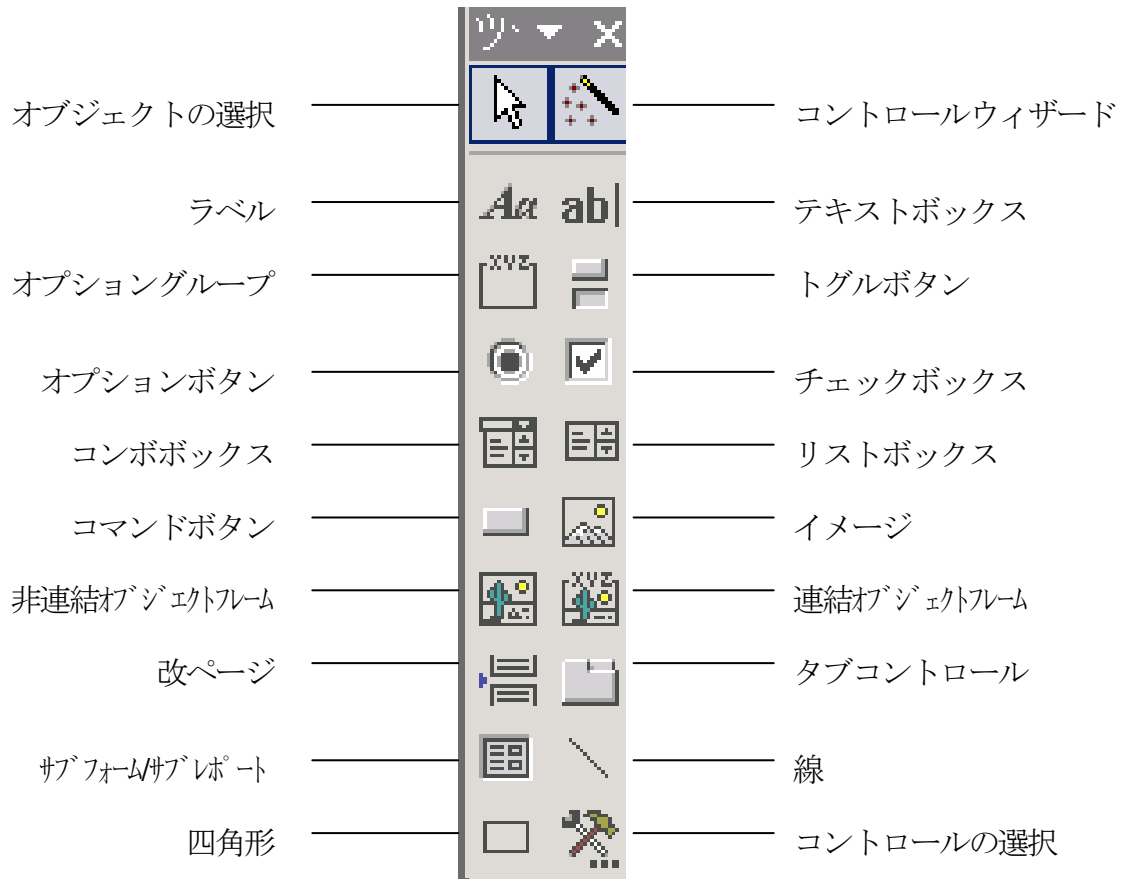


図 2-20 ツールボックス

2-9-2 フォームの修正

フォームウィザードで作成したフォームは、一応期待した機能を持っていますが、データ入力の便宜と誤入力防止、すなわち以下の事項を実現するために修正を加えていきます。

- ・オートナンバー型のフィールドにはデータを入力できないようにし、入力の必要がないフィールドにはカーソルが移動できないようにする。
- ・テキストボックスの代わりにコンボボックスやオプショングループを使い、値選択だけで済むように工夫する。
- ・「受験者テーブル」の項目と「入試成績テーブル」の項目を異なる列になるよう配置する。

修正はデザインビューで行います。以下の手順で操作しましょう。

①フォームデザインビューウィンドウを表示するには、データベースウィンドウで使用するフォームを選んで「デザイン」をクリックするか、フォームを開いてからツールバーの「ビュー」をクリックするか、メインメニューの「表示」で切り替えます。

②入力欄の大きさを変更し、位置を移動します。

- ・コントロール各部の名称

テキストボックスやコンボボックスを総称して「コントロール」と呼びます。通常、コントロ

ールの左側には「ラベル」がついています。そのどちらかをクリックすると、周辺に黒い小さな四角が表示されますが、それぞれの左上の四角は「移動ハンドル」（マウスポインタが人差し指を立てている状態）と呼ばれ、これをドラッグするとコントロールとラベルがそれぞれ個別に移動します。また、どちらかの枠の線（マウスポインタが手を広げている状態）をドラッグすると両方同時に移動できます。左上の四角以外は「サイズハンドル」で、ドラッグすると「大きさ」を変更できます。

・複数のコントロールの選択方法

ツールボックスの「オブジェクトの選択」を押した状態にして、選択したいコントロールが含まれるように、コントロールの外からマウスでドラッグして範囲を選択します。あるいは、**Shift** キーを押しながらコントロールをクリックしていても OK です。場所が離れている場合に便利ですね。複数のコントロールのサイズを変更したい場合などに、この方法を利用します。複数のコントロールを選択後に、右クリックによるショートカットメニューから「配置」または「サイズ変更」で大きさを変えます。

・では、まず右上の「面接」のラベルとコントロールを同時に下に 2 行分移動し、空いた所へ「書類審査」と「小論文」を移動します。これで、「受験者テーブル」への入力と「入試成績テーブル」への入力が 2 列に分離しました。次に、必要ならば、入力欄の大きさを適切と思う大きさに整えましょう。いささか面倒ですが、丁寧に行いましょう。もっとも、大体はデータ型の設定から大抵適当な大きさになっているので、必要ないと思えばそのままでも結構です。

③ 「受験番号」と「ふりがな」へのカーソル移動の禁止

「受験番号」はオートナンバー型であり、「ふりがな」には入力の必要がありません。カーソルを移動できないように以下の手順で設定します。

- ・「受験番号」のテキストボックスを右クリックするか、メインメニューの「表示」を選択します。
- ・「プロパティ」を選択して、プロパティの「使用可能」を「いいえ」に、「編集ロック」を「はい」にします。

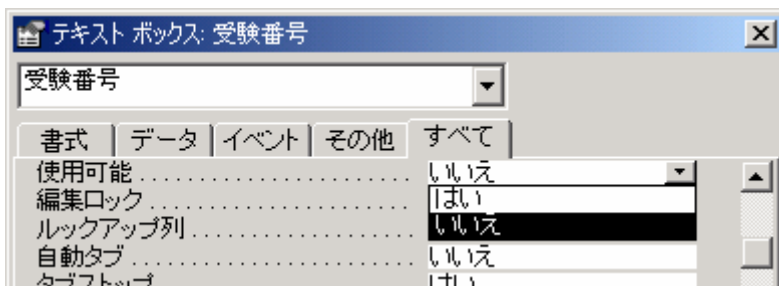


図 2-21 「受験番号」のプロパティ

・同様に「ふりがな」のプロパティの「タブストップ」を「いいえ」にします。

④ 「性別」フィールドのテキストボックスを「オプショングループ」に変更します。

・「性別」フィールドのテキストボックスをクリックして、**Delete** キーで削除します。ツールボックスの「コントロールウィザード」を押していない状態で、「オプショングループ」をクリックしてから、「性別」の元のあった場所の下図のように「オプションフレーム」を作ります。フレームは元のテキストボックスの位置に同じ程度の大きさになるようにドラッグして作成し、

「フレーム」と書かれたラベルだけを左の位置に移動させます。ラベルの移動は慎重に。

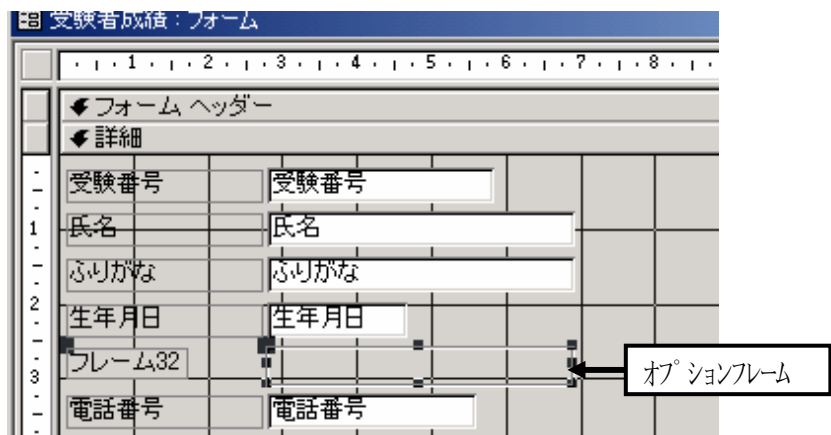


図 2-22 「性別」 オプションフレーム

- 次に、作成したオプションフレームのハンドルの上で右クリックして「プロパティ」を選択し、以下のように変更します。

名前	性別
コントロールソース	性別
既定値	1

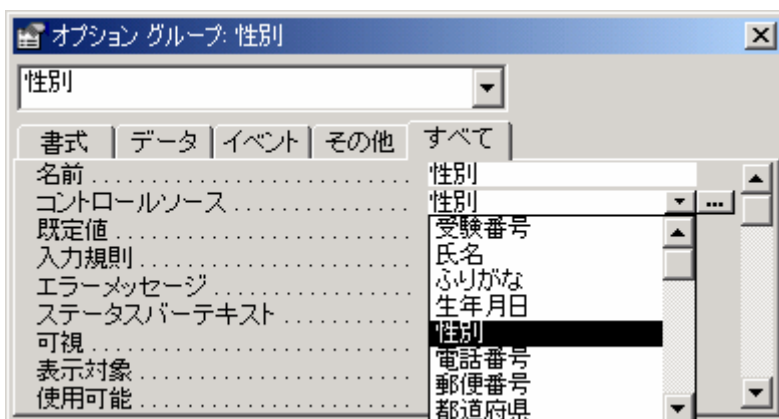


図 2-23 性別テキストボックスのプロパティ変更

- フレームのラベルのプロパティも以下のように変更します。

名前	性別ラベル
標題	性別

- フレームの中に「男性」と「女性」のトグルボタンを作ります。

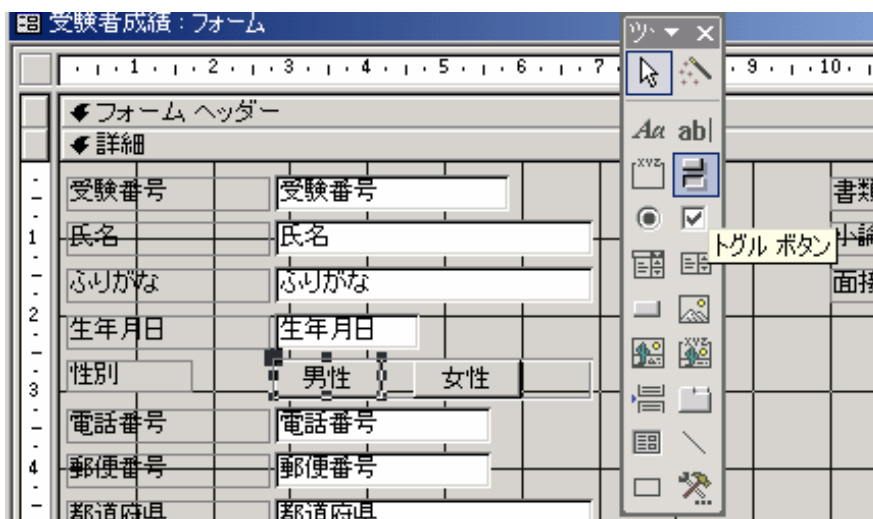


図 2-24 性別トグルボタンの作成

それぞれのボタンを右クリックして「プロパティ」を選択し、以下のように変更します。

	男性トグル	女性トグル
名前	男性	女性
標題	男性	女性
オプション値	1	2

最後に、オプショングループの外枠の大きさをトグルボタンとほぼ同じ大きさにしておきましょう。

- ⑥コントロールをいったん削除してから作製しなおすと、カーソルの移動の順番が最後になってしまうので、メインメニューの「表示」→「タブオーダー」を選択して順番を変更します。変更方法は、「行セクタ」をクリックして反転表示させた行を望む位置へドラッグして変更します。

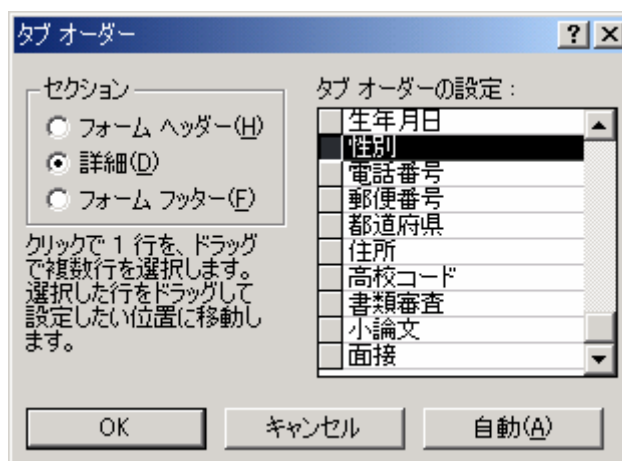


図 2-25 タブオーダー

これで、いったん修正を終了します。右上の 印をクリックし、「保存する」を選んで閉じましょう。

2-9-3 フォームの確認

この段階で、出来上がったフォームが正しく動作するか確認することにしてしましましょう。最初にそれぞれのデータベーステーブルに対する入力方式を明確にしておきます。

データベーステーブル	入力方式
受験者テーブル	フォームで同時に入力
入試成績テーブル	
高校テーブル	表に直接入力

表 2-5 データベーステーブルの入力方式

これらのテーブルのうち、高校テーブルのデータは受験者テーブルで引用されるので、必ず高校テーブルに入力してからフォームに入力するようにします。では、高校テーブルに一つだけデータを入力しましょう。ここでは、作成したフォームの動作確認を行うだけなので、各テーブルとも一つのレコードだけ入力するだけにします。データの入りはまとめて次節で行います。

では、高校テーブルに図 2-26 のように入力して、列幅を調整してください。

高校テーブル: テーブル						
	高校コード	高校名	電話番号	郵便番号	都道府県	住所
▶ +	14001	神奈川A高校	045-999-8897	235-8989	神奈川県	横浜市緑区白秋44-78
* 0						

図 2-26 高校テーブルの最初のレコード


次に、データベースウィンドウでフォームを選び、「受験者成績」フォームをダブルクリックして開き、下図のように入力します。

図 2-27 受験者テーブルと入試成績テーブルの同時データ入力フォーム

以上の入力において、以下の事柄を確認します。確認事項が該当しない場合は、再度修正してください。

確認事項

- ・「受験番号」にはカーソルは移動できない。
- ・「氏名」を入力すると、「ふりがな」が自動的に入力される。また、**Enter**キーを押すと、「生年月日」にカーソルが移動する。
- ・「性別」はトグルボタンである。
- ・「氏名」「都道府県」「住所」にカーソルが移動すると、「IME 入力モード」が「ひらがな」になる。
- ・「郵便番号」「高校コード」「書類審査」「小論文」「面接」にカーソルを移動すると、IME がオフになって直接入力になる

これらの確認が済んだら、右上の印をクリックし、「保存する」を選んでフォームを閉じ、データベースウィンドウの「テーブル」オブジェクトをクリックしてテーブルに切り替え、「受験者テーブル」と「高校テーブル」をダブルクリックで開いて、データが正しく入力されていることも確認しておきましょう。

これで入力フォームが完成しました。失敗した箇所が多くて修正が容易でない場合は、最初からやり直すのが近道です。